



令和8年8月25日



飛島ふ頭南側コンテナターミナルが CNP 認証(レベル4+++)を取得しました

国土交通省港湾局は、コンテナターミナルの脱炭素化の取組を評価する認証制度（CNP 認証）の運用を令和7年度から開始しております。

この制度により、飛島ふ頭南側コンテナターミナルの借受者である飛島コンテナ埠頭(株)が申請したところ、レベル4+++の認証を得ることになりましたので、お知らせします。

同ターミナルの遠隔自働RTG（タイヤ式門型クレーン）及びAGV（無人搬送台車）による自働荷役の取組等が高く評価されたものとなっております。

また、9月4日（金）には、飛島ふ頭南側コンテナターミナルにて認証書交付式が予定されており、申請者の飛島コンテナ埠頭(株)とともに、共同取組者として名古屋四日市国際港湾(株)、本組合も認証書を交付されます。

認証の詳細につきましては、別添及び以下の国土交通省 HP をご参照ください
(URL: https://www.mlit.go.jp/report/press/kowan_news.html)

【お問合せ先】

政策企画部（次世代エネルギー推進担当）

担当：戸谷、水上

TEL：052-654-7958

名古屋港 飛島ふ頭南側コンテナターミナル

脱炭素化の取組主体	主な取組内容
飛島コンテナ埠頭株式会社	インバータ制御方式のガントリークレーンの導入 遠隔自働RTG及びAGVによるヤード荷役 ヤード照明のLED化 昼休みゲートオープン及び搬出予約の導入 管理棟照明のLED化及び屋上緑化
名古屋四日市国際港湾株式会社 名古屋港埠頭株式会社	ヤード照明のLED化
名古屋港管理組合	名古屋港港湾脱炭素化推進計画の作成 環境性能に優れた船舶へのインセンティブ制度の提供

[ターミナル概要]

名古屋港飛島ふ頭南側コンテナターミナルは、大型コンテナ船に対応できる水深16mの耐震強化岸壁2バース、22列対応の免振装置付ガントリークレーン6基を備えた高規格コンテナターミナルです。遠隔自働RTG、AGV(無人搬送台車)を導入した日本初の自動化ターミナルで、ITを活用してこれらの機器の効率的な連携を図り、さらなる荷役効率の向上に取り組んでいます。これからもお客様に選ばれる持続可能なコンテナターミナルとして、深化と進化を続けていきます。



認証レベル

Level 4 + + +

(認証日 令和8年8月25日)

CO₂排出量原単位

-

(算出に必要な一部情報が不足)



遠隔自働RTGとAGVの自働荷役
(アイドリングストップ・夜間消灯自働荷役)



遠隔自働RTGとトレーラーの遠隔操作



名古屋港港湾脱炭素化推進協議会